



## ユーコン・リバー・マラソン・パドリング協会

YUKON RIVER MARATHON PADDLING ASSOCIATION

4061 4th Ave, Whitehorse, Yukon, Canada Y1A 1H1

Phone: (867) 333-5628 (33FLOAT)

Fax: 1-888-959-3846

Email: [info@yukonriverquest.com](mailto:info@yukonriverquest.com), Website: [www.yukonriverquest.com](http://www.yukonriverquest.com)

### 2018 年度 ユーコン・リバー・クエスト規則

#### 第 20 回ユーコン・リバー・クエスト、カヌー及びカヤック・レース公式規則

## 序文

ユーコン・リバー・クエスト (YRQ) の歴史は 1897-99 年に起こったクロンダイク・ゴールド・ラッシュの 100 周年記念日に遡ります。「真夜中の太陽レース」として知られるこのレースは、北国の空が暗くならない季節に開催されるため、参加者は、水の上で丸 24 時間漕ぎ続けられる、というユニークな経験を得られます。レースの行われるユーコン川は、五つのユーコン原住民の伝統的領地を通って行きます。ゴールド・ラッシュ・スタンピーダーがこの地に入って北国の様子を永久に変える以前、何千年もの昔から原住民はユーコン川を利用してきました。原住民の伝統的なカヌーや、後年スターン・ホイラー(船尾外輪船)が上下したユーコン川は、実は昔と大して変わっていません。その野生の美に魅せられて、世界中から人々が訪れてきます。

ユーコン・リバー・クエスト (YRQ) はありきたりの川下り冒険の旅ではありません。**大自然の中でのパドリング・レース**です。全ての参加者は、他のボートや他の人に何時間もの間全く出会わない可能性があることを予期しておいて下さい。ユーコン川沿いは、道路のアクセスポイントも少なく、人もほとんど住んでいません。チーム・メンバーが技術的にどんなにすぐれていても、思いもかけないような最悪のことが起こりうるし、実際に起こるのだ、ということ念頭に置いていてください。肩の障害、手首の疲労、水膨れのできた手、極度の疲労、寒さや雨による低体温症、暑さのせいで起こる高熱症、または単なる過度の疲労。チームはそれらのことを踏まえて、いざというときには、二、三日は自給自足でできるよう装備してください。

パドラー自身で即時に緊急の自己保身が出来るように準備してください。あたりにだれもいず、他のボートもみあたらないところで、何らかの原因で水に落ちたとき、最終的にはリカバリー／自己保身はパドラー自身の責任になります。最悪の条件を仮想して準備をしてください。肩や手首を痛めて休まなければならないときは、自分の体の保温に留意しなければなりません。そのためにはスリーピング・バッグ、避難所、温かいスープなどが考えられます。使わないかも知れない荷物の重さが増えてしまうだけのようですが、それがあつかないかで、レースを続けられるか川で救助されたため失格とみなされるか、の違いになります。**自信があるからと言って、緊急のための装備に関して儉約しようとしたり、おろそかにしたりしないこと。**

低体温症（ハイポサーミア）は、救助されたうえレース失格を余儀なくされる一番の原因です。長雨に備えて、スペアの乾いた衣服は2セット用意すること。寒さを感じるまえに暖かい衣服を着る、特に頭には温かいウールの帽子をかぶること、手には温かい手袋をすること。寒さのために身体が震えて漕ぐこともできないようならば、すぐに風や雨を避けて、乾いた衣服を着用、テントと寝袋に入って身体をあたたため、暖かい飲み物を飲む。それでも暖かくなならないときは、熱い湯をボトルに入れ、それを着ている物のなかにいれて身体をあたたためる。手足の冷たさを心配する前に、身体の芯を暖める。バックパック用の小さな軽量ストーブがレース完走のカギになるかもしれません。だからこそ必須項目/ギアの一つとして携行が義務付けられているのです。いくつかのモニター・ポイントと正式のチェック・ポイントは、競技者を援助するために、レース・ルートの数か所に設置されています。（位置と設備詳細については、ルール23参照）原則としてそこにはたき火と熱湯が用意してあります。寒くて自分でどうしようもない時などに利用してください。体を温まるために数時間かけても、そのために失格になることはありません。リバー・レスキューの対象の一人にならないように頑張ってください。**参加者全員がレースを完了することが、主催者の願いです。**

## レース進行手順要綱

### 1. レース出発

**2018年度ユーコン・リバー・クエスト・レースの出発は2018年6月27日、水曜日の正午（太平洋夏時間）。出発場所は、ユーコン準州ホワイトホース、ロータリー平和公園にあるあずま屋（休憩所）わき。ただしYRMPA（ユーコン・リバー・マラソン・パドリング協会）の別個の指示があった場合を除く。すべてのパドラーは、カヌーやカヤックの置いてある川岸まで走る（そこからボートに乗る）。ボートの位置は、6月26日のパドラーのための最終説明会で詳細が決定/発表される。（ボートまで水の中を走らなければならないチームがどれか、を含めて。）（ルール16参照）レース・マーシャル（審判員／監督）は、YRMPA 理事会の承認によりこの規則を変更することがある。**

### 2. 申し込み締め切り、制限、待機リスト — 登録費用、避難／救出保証金

**2018年度ユーコン・リバー・クエストの申し込み受け付け開始は2017年11月1日、18:00(6:00 PM) 太平洋夏時間。正式な参加申し込み書、免責同意書、チームメンバーの履歴、ネット上での以上**

の書類の提出は、チームの参加申し込みと共に、この規則書にある全てのレースの規則をチームメンバー全員が理解し遵守することに同意したことを意味する。**過去に単独で YRQ レースを完走した経験のないソロ（単独）参加希望者は、二人乗りまたはボヤジャー・カヌーで参加するか、あるいは、マラソン・パドリングまたはウィルダネス・パドリングの経験が十分であることを YRQ 実行委員会に納得させなければならない。ソロ競技者は自己レスキューができなければならない。ソロ競技者は登録の前に十分納得のいくパドリング歴を提出しなければならない。** YRMPA は、誰からの申し込みでも、拒否する権利を留保する。**参加申し込みは、オンラインで登録。締め切りは 2018 年 6 月 1 日太平洋夏時間 23:59 (11:59 PM)。** 2018 年 5 月 15 日以降の申し込みは、レース前の広報資料には記載されない場合がある。

**チームの登録:** チーム・キャプテンはオンライン申し込み書のすべての項目を記入すること：チームの名称、ボート・クラス、パドラーが何人参加するか、連絡先。そして免責同意書に署名をし、参加費用を支払わなければならない。**すべての参加者は各自最初の申し込みの時点で参加費の支払いをしなければならない。参加費の支払いが終わるまでは、チームは登録したことにならないし、ウェブサイトのチーム履歴サイトにも表記されない。** キャプテンは、以下の事柄を確かめる責任を負う：申し込み書の他の必要事項がすべて記入されていること、トラッキング・デバイスが登録されていること、すべてのメンバーがそれぞれの箇所に必要事項を記入し、免責同意書にサインしていること。登録の正確さを期するために、チーム・キャプテンの登録が済み次第、チームに関するすべてのインフォメーションを直ちに提出しなければならない。免責同意書（ウェイバー）は“**Information for Racers**”のサイトにある、“**Racers**” から、ダウンロードできる。

**チームの SPOT サテライト（トラッキング・デバイス）GPS シグナルは、2018 年 5 月 15 日までに、または遅くとも登録後 7 日以内に、ウェブ・ページに登録しなければならない。登録が未完了の場合は競技には参加できない。**

チーム・メンバーの代理／入れ替えは追加料金を支払わずに出来る。**注：** 2018 年 6 月 1 日以降に代理が登録された場合、その選手に合う正しいサイズのシャツが支給されるかどうか、また選手の氏名がオフィシャル・リーダー・ボードに表記されるかどうかは、保障はできないが、可能な限りの努力はなされる。**追加チーム・メンバーの登録と参加費用支払いは、2018 年 6 月 1 日、11:59pm まで。チーム番号は 2018 年 6 月 1 日以降程なく割り当てられる。すべての参加者は、出席が義務付けられているレース前のミーティングの時かまたはそれ以前に、YRMPA から要望されたすべての書類および宣伝用資料に署名しなければならない。この規則に従わない場合は失格となる。**

### **参加者数制限と待機（順番待ち）リスト**

**2018 年度レースの参加チーム数の上限は 125 とする。** また、以下のクラスには制限がある：6 人以上のボヤジャー・カヌーの最高限 15 艇、そしてソロ・ボート（C1, K1, SUP）の最高限 40 艇。多数のソロ・ボートの申し込みが予想されるため、ソロ参加希望者は、\$ 50 の登録料金を払って予備登録をする必要がある。予備登録者数が最高限を超過した場合、参加者の選択は、一週間後にくじ引きで決定される。（選ばれなかったチームは、待機リストに記載される。）

ボヤジャーとソロ・チームがいっぱいになり次第、事務局長がそれぞれのクラスの待機リストを作成する。レース最高 125 艇が満たされたら、全体の待機リストが作成される。**待機リストに登録される資格を得るためには、競技者はオンラインで、チームの情報を送り、経費50ドル(返金不可)を2018年5月15日までに支払わなければならない。**ソロ競技者が棄権した場合、ソロ競技者の待機リストから、申し込みの日付の早い順に競技者が選ばれる。ボヤジャー・チームの待機リストの扱いも、同様である。もしK2、C2もしくはC4チームが棄権した場合、そしてソロ及びボヤジャー・クラスが限度に達している場合、ソロでもボヤジャーでもないクラスの待機リストから申し込みの日付の早い順に、K2、C2もしくはC4チームの中から選ばれる。**これらの空席に登録するには、空席情報を受け取ってから7日間以内に参加費用全額を支払わなければならない。**待機リストにあるチームは、空席があった場合、2018年6月1日まで正式登録できる可能性がある。

**参加費用** -- ユーコン・リバー・クエストの参加費用は、チーム・キャプテンが**ネット上でクレジット・カード**で支払わなければならない。

2018年度参加費用(オンラインでの申し込み料を含む)：

ソロ・カヤック、ソロ・カヌー又はSUP：\$525カナダドル

二人乗りカヌーまたはカヤック(各ボート)：\$950カナダドル

C4カヌーチーム(4人チーム、各ボート)：\$1200.00カナダドル

ボヤジャーカヌーチーム(6人またはそれ以上、1人につき)：\$300カナダドル(最低\$1,800)

### 最終登録時に徴収される避難/トラッキングのための保証金

参加費用に加えて、払い戻し可能な保証金が、ソロと二人乗りチームは500ドル、ボヤジャーカヌーは1000ドル、**最終登録の際にホワイトホースでキャプテンから徴収される。**この保証金は、チーム、ギア、所持品等を救助船(セーフティ・ボート)が回収する必要があったときのために保管される。**この保証金は、現金、小切手またはカードで支払うことが出来る。**保証金はYRQイベントが終了するまで事務局長が保管する。チーム、ギア、所持品等を回収する必要がなかった場合、この保証金はキャプテンに払い戻される。ただし、トラッキングのためにYRQレース・オフィシャルが貸し出したSPOT機器が返還されるまで、保証金の払い戻しはされない。

### 3. 定義：参加チームのクラスとディビジョン(部門)

**参加チームは下記のボート・クラスの一つに登録する。**

ソロ・カヌー、ソロ・カヤックまたはSUP(スタンド・アップ・パドルボード)とは、一人でカヌー、カヤック、またはSUPに乗り川を下ることを意味する。ソロ・カヤック・クラスは男女別のディビジョン(部門)に分かれている。ソロ・カヌーとSUPのクラスはオープン・ディビジョンと一緒に競争する。

二人乗り(tandem)カヌーまたはカヤックとは、2人の競技者が一つのボートに乗り川を下ることを意味する。このクラスは男性、女性、または混合の三つのディビジョンに分かれる。

**C4 カヌー・チーム**とは、4人の競技者が一つのボートに乗り川を下ることを意味する。C4クラスは**オープン・ディビジョン**で、男女とも一緒に競争する。今後は、C4はボヤジャーとは別のクラスになる。

**ボヤジャー・カヌー・チーム**とは、6人以上の競技者が同一のボートに乗って川を下ることを意味する。ボヤジャー・チームは、競技者の一人が参加できない場合のための補欠競技者の名前を一人登録することができる。この補欠競技者が代替として参加する場合、レースの始まる5日前までにその旨届出が必要である。ボヤジャー・クラスはオープン（普通は主に男性）、女性、混合、の三つのディビジョンに分かれる。混合チームのメンバーの3分の1は女性であること。さもなければオープン・ディビジョンとして扱われる。

チームの競技者が、同一のボートで出発点からゴールまで漕ぎ終えた場合のみ、そのチームに賞金を受け取る資格がある。いかなる理由であれ、競技者の誰かが棄権したボヤジャーまたはC4・チーム、または一人の競技者が棄権し別の競技者と一緒に完走した二人乗りのチームは、非公式のタイムの証書と終了ピンを授けられる（ことがある）。カーマックスのチェック・ポイント以外の場所では、上記のそれぞれのチームは自給自足でなければならない。ボートの仕様（スペック）、クラス、ディビジョンに関してはルール11を、賞金についてはルール10を参照。

#### 4. 年齢制限

参加者の最低年齢制限は15才。ソロ参加の最低年齢制限は19才。二人乗りまたはボヤジャーの場合は、チーム・メンバーの少なくとも半分が19才かそれ以上でなければならない。18才かそれ以下の参加者は、参加者自身の署名に加えて、参加者の親または保護者が免責同意書に署名しなければならない。

#### 5. チーム・メンバー補欠／代理

申し込みが受理された後、レースが始まる前日までは、補欠のメンバーに差し替えることが許される。**チームメンバー全員を変えることは許されない。これは、棄権として扱われるので、新たに申し込みをすることが必要になる。**2018年レースの補欠差し替え登録可能最終日：2018年6月26日（火）。この登録最終日以降に差し替えを行った場合は、ウェブサイトやリーダー・ボードに掲載されない場合がある。

#### 6. レース開始以前のキャンセル／棄権

2018年5月15日または、それ以前に棄権した場合は、申し込み金の50%が返金される。**2018年5月15日以降は、どのような理由であれ、申し込み金は返金されない。**

#### 7. コース、チェックポイント、休息の義務

ユーコン・リバー・クエストは人里はなれた北方の荒野を流れるユーコン川の、ホワイトホースとドーソン・シティの間、およそ751キロメートル(444マイル)の区間を対象として行われる。ユーコン川の地図を用意して、このような状況を考慮した行程のための準備をすることが、チームに義務付けられている。熊やムース(ヘラジカ)に出くわすことも良くあるので、そのための対策も必要である。レース

の公式チェック・ポイントは、ドーソン・シティを含めて、6ヶ所設けられている。チームのタイムはチェック・ポイントにてのみ記録される。ルール23、チェック・ポイント手続き参照のこと。

CP1：ポリスマンズ・ポイント・チェック・ポイント -- 口頭（ボートから声で報告する）

CP2：ローワー・ラバージ・チェック・ポイント - 口頭

CP3：カーマックス・チェック・ポイント - **7時間の休息義務**

CP4：フォート・セルカーク・チェック・ポイント - 口頭

CP5：コーヒー・クリーク・チェック・ポイント - **3時間の休息義務**

終着点/ゴール[CP6]：ドーソン・シティ（ルール25、終着点手続き参照）

上記以外にも、パドラーの安全と進行状態をチェックするモニター・ポイントが、コースの七か所に設けられている。（ルール23を参照）

## 8. レース・オフィシャル（レース・マーシャル、レース審判委員会）

レース・マーシャルおよびレース審判員達の判断は、レースの諸規則に準拠してなされる。レース前の競技者ミーティングから受賞式までのあらゆる面の責任は、レース・マーシャルが受け持つ。レース・マーシャルを議長とし、競技に参加していないカヌー専門家とカヤック専門家の計3人が、審判委員会を構成する。講義を申し立てたいずれかのチームと個人の利害関係が絡まったと判断された場合には、代わりの審判員が選ばれる。この委員会は、レースに関するすべてのいざこざ、紛争を解決する。レース・マーシャルは、タイム・ペナルティを科すことがある。

## 9. 競技前の点検、ミーティング

**2018年6月26日（火）にホワイトホースにて開かれる最終登録に出席し、ビブ（胸当て）、ボート・デカール（チーム番号貼り札。配置指示はルール17-1参照）を含めたレーサー・パッケージを受け取り登録すること、競技前のボートの検査を受けること、およびそれに続いて競技者全員の会合に出席することは、チーム・メンバー全員の義務である。救助が必要になった際のための医療保険のあることを証明する書類を、競技参加者全員が持参しなければならない。地元（ユーコン）の参加者はヘルスケアカードを持参すること。最終登録、ビブの受け取り、ボートの検査、写真撮影の後で、支援者（サポート・クルー）の会合があり、それに続いて競技者の会合がもたれる。上記の会合に出席しなかった場合は、レース・マーシャルの判断により、2時間のペナルティ・タイムが加算される。レース・スケジュールはウェブサイトに掲載される。**

## 10. 表彰と賞金

YRQの表彰の仕組みの意図は、それぞれのクラス、ディビジョンで上位に入ったパドラーの業績を平等公正に表彰することである。それぞれのクラスの勝者、それぞれのディビジョン（部門）での勝者に賞金が授与される。

**2018年度賞金内訳：最高合計額 \$42,000 カナダドル。この合計額と下記の賞金内訳は、100組又はそれ以上のチームの参加があった場合を基にしている。申し込みチームが100組に満たなかった場合には、申し込みチームの最終的な数に基づき、割合に比例して、YRQ理事会が賞金額の調整をする。**

Tandem Canoe	OVERALL C2	Men's C2	Women's C2	Mixed C2	
1st	\$1100	\$1100	\$1100	\$1100	
2nd	\$525	\$525	\$525	\$525	
3rd	\$325	\$325	\$325	\$325	
Tandem Kayak	OVERALL K2	Men's K2	Women's K2	Mixed K2	
1st	\$1100	\$1100	\$1100	\$1100	
2nd	\$525	\$525	\$525	\$525	
3rd	\$325	\$325	\$325	\$325	
Solo Classes	OVERALL Solo	Men's K1	Women's K1	Open C1	Open SUP
1st	\$900	\$900	\$900	\$900	\$900
2nd	\$400	\$400	\$400	\$400	\$400
3rd	\$200	\$200	\$200	\$200	\$200
Voyageur Canoe	OVERALL VC	Open VC	Women's VC	Mixed VC	Open C4
1st	\$2200	\$2200	\$2200	\$2200	\$1650
2nd	\$975	\$975	\$975	\$975	\$750
3rd	\$475	\$475	\$475	\$475	\$400

Top Yukon Canoe*	Top Yukon Kayak*	Top First Nation Team**
\$500	\$500	\$500

\*チームのメンバー全員がユーコンに居住していなければならない。

\*\*チームのメンバー全員が先住民でなければならない。

**受賞資格：**賞金を受け取るためには、レースを始めてから55時間以内(経過時間)、言い換えると、2018年6月30日(土)の午前5時までに、ドーソン・シティの終着点に着いていなければならない。賞金を受け取るためには、レースを始めたときに自分が属するクラスの中の他のチームに勝たなければならない。

**特別賞：**2018年度参加者すべての中で一番にゴールインしたチームは、2019年度のレースに無料で参加できる。(ただしキャプテンは2018年度と同じ顔ぶれのチームを維持しなければならない。メンバーに変更がある場合には、新しい参加者は自分自身個人の2019年度申込金を支払わなければならない。)そして、YRQ永久トロフィーにチームメンバーの氏名が追加される。上位3位までの男性と女性のソロカヤック及びSUP、上位3番までのオープン・ソロ・カヌー、一位のシニア(55歳以上)チーム、スピリット・オブ・ユーコン賞、および、制限時間以内に終わった最後から二番目のチームにレッド・ストーブ賞、以上それぞれにスポンサー賞が授与される(可能性がある)。YRMPAはこれ以外にも賞を授与するかもしれない。

フィニシャーのピンが、レースを終えた競技者全員に表彰式において授与される。

## 1 1. カヌー、カヤック仕様規格 (スペック)

下記の仕様規格を備えるカヌー、カヤック、SUP(スタンドアップ・パドルボード)、ボヤジャー・カヌーは、大自然の中での競技に必要な安全装備を運ぶ許容量を持つものと考えする。下記の規格・規定に満たないボートは失格となる。二人乗りおよびソロのカヌー／カヤック及び C4 カヌーは、全面をカバーするスプレー・デッキか、スナップあるいはタイダウンつきのスカートの装備がなされていること。すべてのボートは人力のみで進行し舵を取る。帆その他、禁止されている舵や推進用具等を使うと失格になる。船体に、オール受け、櫂受け軸、舷外浮材 (アウト・リガー) などの装備を付けてはならない。船体のタイプと大きさは申し込み書に記載されていなければならない。すべてのボートは競技前のミーティングに先だって測定され、またレースの朝に再び検査される。下記にある YRQ の規定に適合する船体であることが絶対確実でないボートを、このレースに持ち込まないこと。よくある質問 FAQ ページに記載されている「測定の仕方」を参考にする。質問がある場合にはメールで問い合わせる。 [info@yukonriverquest.com](mailto:info@yukonriverquest.com).

すべてのボートは、申し込み書に船体の測定値が記載されていなければならない。競技前の検査で、それぞれの船体が規定通りであることが測定・確認される。

### a. 二人乗りカヌー仕様規定 (スペック)

二人乗りカヌー (C 2) クラスでは、市販のレクリエーション用ツーリングまたは原生地旅行用のカヌーから、標準より長いボートもしくは側面が凹形のものまで、広い範囲のボートが許される。「USCA cruisers」の使用は許可されない。全てのカヌーは、承認された全面カバーのスプレイスカート／デッキで装備されていなければならない。カヌーはシングル・ブレード・パドルを使って漕がなければならない。舵やスケグ (底ひれ) は許されない。

二人乗りカヌー最長限度 - 長さ 18 フィート 16 インチ、先端から後端まで。

二人乗りカヌー横幅最小限度 (市販標準型) - ボート中央の一番広い箇所、水面から 4 インチの所で、32 インチ。

二人乗り側面凹形カヌー横幅最小限度 - ボート中央の一番広い箇所、水面から 4 インチの所で 33.5 インチ。

二人乗りカヌー中央ガンネルの高さ最小限、12 インチ

二人乗りカヌー、バウ (先端) の高さ最小限、16 インチ

二人乗りカヌー、スターン (後端) の高さ最小限、16 インチ

\* C2 カヌーの中で、船体のどこであれガンネルが凹型の場合は、ボートの一番広い箇所、水面から 4 インチの所で最小限 33.5 インチ、それ以外の C2 カヌーは、ボート中央の一番広い箇所、水面から 4 インチの所で、最小限 32 インチなければならない。この規則によれば、市販のクリッパーやウェノナー・ジェンセン 18、標準型のクリッパー・ホワイトウォーター II やウェノナー・ミネソタ II ばかりでなく、ウェノナー SCR やサベッジ・リバー・サスケハンナ、ブラック・ホーク等の凹型カヌーの使用が許される。

### b. ソロ・カヌー仕様規定



ソロ・カヌー（C1）クラスでは、クルーガー・スタイルのツーリングまたは原生地旅行用のカヌーから、高性能ツーリング・カヌーまで承認される。全てのカヌーは、承認された全面カバーのスプレィ・スカート／デッキで装備されていなければならない。ソロ・カヌーは舵の装置が付いていても良い。ソロ・カヌーは、シングル・ブレード・パドルを使用して漕がねばならない。

ソロ・カヌー全長と横幅の比率は、水面から4インチの所で9.7。

舷側は水面から6インチの箇所まで少なくとも2メートルにわたって広がっていなければならない。

### c. カヤック仕様規定

このレースで使用できるのは、リクリエーションまたはエクスペディション・スタイルのクローズド・コックピットのカヤックに限られる。シット・オン・トップのカヤックは許されない。カヤックの内部には競技に必要な装備を保管するに十分な場所がなければならない。カヤックは船首船尾に、防水用に密閉した貯蔵場所または浮力室を備えていなければならない。カヤックはダブル・ブレードのパドルを使用しなければならない。

ユーコン・リバー・クエスト（YQR）では、このレースに適したカヤックの全長と横幅の独自の比率を採用している。全長と横幅の比率は、水面から4インチの箇所におけるカヤックの全長（舵を含まずに）を、ボートの中腹、水面から4インチの箇所での横幅で割った数値である。他の出版物に書かれた比率に頼らないこと。加えて、横幅の最小限も規定されている。[よくある質問 FAQ ページに記載されている「測定の仕方」を参考にして測定すること。](#)

#### ソロ・カヤック

水面から4インチの位置で、全長と横幅の比率の最大値：10.8

横幅最大の位置、水面から4インチの位置で最低値：20インチ

#### 二人乗りカヤック

水面から4インチの位置で、全長と横幅の比率の最大値：10.2

横幅最大の位置で最低値：26インチ

### d. SUP仕様規定

SUP（スタンドアップ・パドルボード）は2017年度より、公式のクラスとして実施される。2016年度のテストケースとしてのSUP参加者の参考意見に基づいて設定された2017年度の仕様規定は次の通り。

- A. 全長最高値：4.27m（14フィート）
- B. 横幅最低値：60.96cm（24インチ）
- C. ひれやダガーは許されるが、フォイルは許されない。
- D. 腰のベルトにクイック・リリース・テザーを常に着用すること
- E. クイック・リリース・テザーはトウ・ライン（引き綱）として使える。
- F. シングル・ブレード・パドルのみ使用可。
- G. 全ての装備品はボードにしっかり結びつけること。
- H. 必須のギアはすべて装備のこと（ルール16を参照。SUPの例外項目に注意。）

### e. C4カヌー仕様規定

2017年度から新たに C4 ボート、構成人員 4 人のチームが、下記の仕様(スペック)に従って参加できる。このクラスのすべてのカヌーは、シングル・ブレード・カヌー・パドルを使用して漕がねばならない。

#### 4 人乗りカヌー (C4 クラス)

##### 船体の測定値

- A. 全長最大値： 23 フィート 1 インチ、最低重量 55 ポンド(製造時点で)
- B. ボートは製造者によって特別に 4 人用として作られたものでなければならない。
- C. 横幅最低値：ボート中央の箇所、水面から 4 インチの所で、33 インチ (ガネルの地点も水面から 4 インチの所も、どちらも)
- D. 横幅最低値：水面から 4 インチの所で、先端から 4 フィートの箇所で 16 インチ、船尾から 4 フィートの箇所で 17 インチ。
- E. 船体が縦軸に沿って凹型になっていないこと、またクロス・セクションにも凹型の箇所がないこと。
- F. 製造者のスペックによる深さ最低値： 先端=20 インチ、中央=13.5 インチ、船尾=17 インチ
- G. 船体のどこにも角ばった線・箇所がないこと。船底の中央の軸は最低ソフトボールの半円以上でなければならない。
- H. タンブル・ホーム最大値：両側それぞれ 2 インチ

#### f. ボヤジャー・カヌー(6 人乗り以上)

ボヤジャー・カヌー・クラスは、カナダの先住民とカナダの伝統を称えるものである。構成人員 6 人以上のチームが、下記の仕様(スペック)に従って参加できる。このクラスのすべてのカヌーは、シングル・ブレード・カヌー・パドルを使用して漕がねばならない。

船体の全長制限： 24 - 42 フィート

水面から 6 インチでの横幅最低値 (ボートの全長によって異なる)

ボート全長 24-28 フィート、水面から 6 インチでの幅： 36.25 インチ

ボート全長 28-34 フィート、水面から 6 インチでの幅： 44 インチ

ボート全長 34-42 フィート、水面から 6 インチでの幅： 48 インチ

ガネルの水面までの最小の深さ： 18 インチ

#### ボートの代用

コースのいかなる時点でも、規則違反の代用ボートを使用したら失格となる。レース・マーシャルの許可があれば、破損したボートを同じクラスのものに取り換えることは可能である。但し 2 時間のペナルティが科せられる。

## 12. クレーム、苦情

すべてのチーム・メンバーは、自らのチーム・メンバー、彼らのエージェント、彼らが雇用した者、ボランティア、等による行為または手落ちに由来すると見られるいかなるクレームや要求に関する責任をも、YRMPA、レース・スポンサー、協力者・貢献者たち (個々のレース参加者やチームに対するスポンサーのことでなく、レース全体/YRMPA に対するスポンサー、貢献者) に対して、一切追求しないことに同意する。かつ又 YRMPA は、広告宣伝、PR、その他の広報活動等の目的のために、レース

のスポンサーが写真を撮り、情報を集めることを認可することに関して、無制限の全面的権限を有する。

### 13. チーム報告義務

チームメンバーは、これらの規則に対する違反のすべてを、レース・マーシャルまたは審判官に報告する義務がある。違反報告用紙は、レース・オフィシャルが所持しているし、チェック・ポイントにも用意されている。

### 14. 異議申立書

異議申し立てのある競技者は、レースが公式に終了した1時間以内に、言い換えれば失格でない最終のボートがゴールに到着した後1時間以内に、つまり、遅くとも日曜日の午前1時まで、50ドルの手数料（返金不可）を添えて、文書でレース・オフィシャルに提出する。異議申し立てはできるだけ早い機会に提出すること。

### 15. 規則を守らなかった場合

レース・マーシャル、レース審判官によって下された全ての決定は最終確定的である。レース進行手続きや規則に従わないチームメンバーは、レース・マーシャルの判断により、失格と見なされるか、またはタイム・ペナルティが科せられる。

## 川での手続き／注意事項

### 16. 同時出発／遅刻出発

全てのチームの競技者全員は、ロータリー・パークのスタート・ラインから'LeMans' 様式で（全員一斉に）、2018年6月27日の正午に、同時に出発する。そして、川岸まで300メートルくらいの距離を走るか歩かして、事前に指定された場所に置いてあるカヌーやカヤックに乗って、そこから漕ぎ出す。チームの支援者の一人は、指定の場所からボートを押し出すのを手伝うことが許される。支援者またはチームのメンバーが、指定されたスタート・ポイントから、事前にボートを動かした場合は、レース・マーシャルにより1時間のペナルティが加算される。出発時間から30分以内に、つまり12時30分までに漕ぎださないチームは、参加の意思なしと見なされ、失格となる。

### 17. レースに必須の用具・装備

下記の用具・装備はチームがレースを始めるために絶対必須である。**必須の用具・装備はレースに参加している間、終始所持していなければならない。**もし所持していない場合は失格となる。これらの用具を使い切ってしまったたり、予想外の事情で紛失してしまったときには、カーマックス・チェックポイントで、サポート・クルーから補充してもらうことが許される。これらの必需品はカーマックスおよびドーンソンで再検査され、紛失したものがあ場合は、レース・マーシャルによりペナルティ・タイムが科せられる可能性がある。

- a. i) 各カヌー・チームおよび SUP 競技者は、シングル・ブレード・パドルを各競技者につづつと、予備のシングル・ブレード・パドルをポートに一つ装備して、レースを始める。
- ii) 各カヤック・チームは、ダブル・ブレード・パドルを各競技者につづつと、予備のダブル・ブレード・パドルをポートに一つ装備して、レースを始める。
- iii) ボヤジャー・カヌー・チームは、シングル・ブレード・パドルを各競技者につづつと、予備のシングル・ブレード・パドルをポートに二つ装備して、レースを始める。
- b. 全てのポートはトウ・ライン（引き綱）を、手の届くところに、ポートにしっかり取り付けていなければならない。
- ボヤジャー・カヌーは、前と後ろにそれぞれ40フィートのトウ・ラインを備えていること。それ以外のポートは、20フィートを一つの端に、40フィートのトウ・ラインをもう一つの端に備え付けること。（後者は水に浮く引き寄せ綱と兼用でも良い。hを参照。）
- SUP のテザーはカヌーのトウ・ラインと同じ、と考慮される。
- c. チームメンバーは、米国沿岸警備隊(U.S. Coast Guard)またはカナダ交通省(Canadian Department of Transport) Class III に**認可されたライフ・ジャケット (PFD)** を各々装着していなければならない。水上では常にいかなる時にもライフ・ジャケットを体に着用していなければならない。（泳ぐ時も含む。）**セルフ・インフレーターブル (自動膨張) のライフ・ジャケットは許されない。**5年以上使い古したか、擦り切れた様なライフ・ジャケットは、新しいものほどプロテクションがないので、検査の際に許可されない可能性が多い。必要な機能・目的に影響するような変形、修正、すなわち切ったり、裂いたり、破いたりしたライフ・ジャケットは、許可されない。ライフ・ジャケットには、USCGまたはカナダ交通省スタンダードに適合することを証明する製造者のラベルが表示されていなければならない。レース中は、ホワイトホースで検査済みの、認可されたライフ・ジャケット（それ以外は不可）を常時着用すること。レース中いかなる時にも、ライフ・ジャケットを着用していなかったり、許可されたライフ・ジャケット以外のものを着用していたりした競技者は失格となる。カナダ、US以外の競技者は、最低50ニュートンの浮力が備わっていて、また下記ヨーロッパの国際標準に適合するライフ・ジャケットを使用することが出来る。EN393, EN395, ISO12402-5, or ISO12402-6。
- d. 全てのライフ・ジャケットには、下記の品目が付着してあるか、またはポケットに入っていないなければならない：ホイッスル、緊急用寝袋（Bivy Sack）、発火用具（防水マッチ／ライターおよび可燃物）。
- e. **YRMPA から支給された**オレンジ色のゴミ袋をシグナルとして使うこと。
- f. ソロと二人乗りの競技者は、**ホワイトホースからローワー・レイク・ラバーズ、およびカーマックスからリンク・ラピッドの2区間**を航行中は、スナップ・オンカロープでしばりつけたフル・カバーのスプレイスカート／デッキの使用が義務付けられている。C4カヌーに関しては、先頭パドラーの周りのスプレイスカート／デッキが、最低必要条件であるが、**フル・カバーのスプレイスカート／デッキの方が、より好ましい。**この規則の違反者は失格となる。
- g. ボヤジャー・カヌーは、フル・カバーのスプレイスカート／デッキが望ましいが、義務ではない。その装備がないボヤジャー・カヌーは、浮力装置の内装が必須である。

- h. 15メートル以上の長さで、太さ最低6ミリメートル (1/4インチ) の水に浮くロープがいつでも使えるようにしておく。 **これはトウイング・ロープとして使っても良い。(bを参照)**
- i. レース終了まで必要とされるチームメンバー全員のための食物と飲料水の用意。
- j. 水をくみ出すためのバケツまたはポンプ。SUPには必要無い。
- k. 川の地図。(ホワイトホースまたは yukonbooks.com で購買可能)
- l. レース用胸当て(ビブ)はYRMPAから供給され、競技者が2018年6月26日の登録時に各自サインする。(ビブの一枚はレース後に返却すること)又、チーム番号のついたレース・デカール(貼り札)は、ボート先端の右か左に貼る。ボートの形によっては、船尾か上表面の、より見やすい箇所に貼る。
- m. 救急箱。(参照サイト：[www.yukonriverquest.com/firstaidkit.htm](http://www.yukonriverquest.com/firstaidkit.htm))
- n. 零下5度用の寝袋を各競技者にそれぞれ用意
- o. チームメンバー全員(一緒、または別々に)が入れる自立式(フリー・スタンディング)テント。
- p. 夜間走行およびシグナル送信のための完全防水懐中電灯またはナビゲーション・ライト、ペダル型LEDライト(カナダ交通省規定)。舟の前に取り付けるか、またはソロのカヤッカーまたは二人乗り、ボヤジャー・カヌーの船首で漕ぐ競技者の場合は、ヘッド・ランプとして使用する。**チームは夕方から明け方まで(真夜中から午前4時まで)点灯する。バッテリーは8時間以上継続できるだけの予備を持つ。**
- q. 暖かい重ね着を2着余分にドライバッグに用意する。
- r. バックパック用ストーブと燃料、および16オンス(500cc)の水を沸かすことの出来るやかん、または鍋。
- s. 日よけ止め
- t. 雨具上下を各々のチームメンバーにそれぞれ用意する。
- u. **トラッキングのための機器(SPOT装置/GPS発信機またはInReach等)を、トラッキングが可能になるように作動状態(オン)で表(おもて)を上にして、デッキに正しく取り付けること。**

チームの使っているトラッキング装置に故障があった場合は、レース・オフィシャルが代替りの装置を貸してくれる。YRQ所有のトラッキング装置を借りた場合は、チームキャプテンは、ボートのデッキに表面を上向きにして取り付け、レース中常時装置をオンにしておく。**レースの終了後、トラッキング装置は必ずオフィシャルに返還する。さもなければ避難/救出保証金は払い戻されない。**

上記の装備品は、必要に応じてドライ・バッグに入れて運ぶ。

**各チームは上記の物以外にも、サングラス、虫除け、ナイフ、現金、およびカーマックスとコーヒー・クリークで使うために耳栓か虫よけ網を、用意しておくことが望ましい。**

## 18. 困難/苦境に陥ったチーム

他のチームが明白な困難に陥っているのを目撃した場合は、救助船(セーフティ・ボート)が到着するまでの間、出来るだけの援助をすることが要求される。**そのためにかかった所要時間の調整をすることは無いが、援助したチームは授賞式において認められ表彰される。もし、援助することが不可能であったなら、SPOT装置でヘルプ/HELPのメッセージを30分間発信するか、その他のトラッキング装置を**

**使ってテキストを発信すること。**緊急援助を怠った場合は、チームメンバー全員が、ユーコン・リバー・クエストの競技に生涯参加資格剥奪の処分になる。

## 19. チーム援助

カーマックス以外の場所で、レース中に外部からの援助を受けることはできない。**ベース・ボート**（モーターボートであれ、漕ぎボートであれ、チームに従うか先に行くかによらず、スピードを一定に保つ、援助をする、水を運ぶ、食物を運ぶなどの役割をするボート）は**一切禁止**されている。このウィルダネス・レースを完遂するために、メンバー全員が必要なだけの飲食物を、チーム自体が運んでいなければならない。このルールを破った場合は失格となる。カーマックス以外では、参加チームすべてに同じように援助がないのであるから、どのチームも援助をうけてはならない。他のチームからの、予期しない援助（つまり緊急の場合などの善意の援助）は許される。援助が事前に計画されたものと疑われる場合は、罰則が科せられる。

## 20. 飲酒、ドラッグの使用禁止

どのような状況においても、参加者がレース中に酒類、あるいはカナダ・カヌー協会より指定された違法のドラッグ、運動能力向上薬などを摂取することは一切許されない。もし競技者がそのようなドラッグを摂取したという疑いが発生した場合、競技者の体内に違法のドラッグがあるどうかを判定するために、YRMPA はラボテストを行う権利を有する。**持病等の管理のために、刺激剤に類する薬を摂取もしくは吸入する必要のある競技者は、レースが始まる以前に、その事実をレース・マーシャルに申し出なければならない。**

## 21. 妨害行為、ドラフティング（牽引・追隨）

水上であれ陸上であれ、他のチームに対する妨害行為をした競技者は、レース失格となる。スポーツマンシップに反する行為は、すぐにレース・マーシャル（審判員）に報告すること。そのような行為にはペナルティが科せられる。

## 22. ドラフティング（牽引・追隨）は以下の条件の下でのみ許される。

（\*訳註：ドラフティング：一つのボートが他のボートのすぐ後ろにつくことにより、楽に漕いで進むことができる。）

- a. 同一のクラスでのドラフティングは許される。ただし各自同じ時間ずつ先導すること。
- b. 違うクラスのふたつのボートのドラフティングは、緊急の場合以外許されない。
- c. もしレース前から二つのボートが助け合う相談をしていたという疑いのある場合は、セクション 19 で禁止されているベース・ボートに関する規則の違反とみなされる。

何らかの問題があった場合には、速やかにレース・マーシャルに報告すること。

## 23a. ゴミを散らかさない。文化・考古学的遺物などは持ち出さない。

川にも岸にも、ゴミを残したり散らかしていくことは許されない。行程の途中であまった食べ物を残して行くことも許されない。キャンプや休憩の際、チームはキャンプの痕跡を一切残してはならない。（No-trace camping）競技中にその行程でゴミを散らかしたことがあきらかなチームは失格となる。ユー

コン川は「世界で一番長い博物館」と広く呼ばれている。川沿いには歴史的遺産物や遺跡が多数ある。歴史的遺産物の侵害・損傷・除去は、直ちに競技者の失格につながる。

### 23b. 法令遵守

上記のレースに関する規則に加えて、歴史的サイトや遺産に関する通常法律が、レースの全行程で競技者に適用される。レース中に準州、国家、インターナショナルの法律に違反し、チームのメンバーが有罪になった場合、そのチームはレース失格となる。レース中はチームは銃器を携帯してはならない。

### 24. チェック・ポイント (CP)、モニター・ポイント (MP)、義務休憩所での手続き

各々のチェック・ポイントでは、ブイまたはコーン標識によって示された架空の線をチームが通り過ぎる毎に、タイム（通過時刻）が記録される。チームのタイムは、レース掲示板（リザルト・ボード）とウェブサイトとに記載/発表される。チェック・インを怠った場合は、ペナルティ・タイム追加か失格になる。チェック・ポイントで仕事をしているボランティアに敬意を払うこと。彼らは他のチェック・ポイントから送られてきた情報を受け取っている。チェック・ポイントでは、下記に示された手順に従うこと。この手順は競技前のミーティングでも検討される。

モニター・ポイント (MP) は安全確認が目的で、タイムは記録されない。

#### CP (チェック・ポイント) とMP (モニター・ポイント)

**CP 1: ポリスマンズ・ポイント** (60.95°N, 135.084°W) は、川に杭の打たれている場所の少し手前、川の左側にある。口頭で確認。

**MP 1: 第1レーク・ラバージ** (60.999°N, 135.040°W) 「ブイ」は、河口（湖入口）から約4キロ (2.5 マイル) の地点、湖の右側にある。口頭で確認。 **チームはブイと岸との間を通り、ボートか岸にいるオフィシャルに声をかけて、自分のチーム・ナンバーを告げなければならない。** チームは湖の右岸に沿って進行しなければならない。そうすることによって、湖の終わりの河口(湖出口)に行き着くことができる。

**MP 2: キャザーズ・ポスト** (61.11774°N, 135.0996°W) 「ブイ」は、湖の始まりから、17キロ (10 マイル)、湖の右側に位置する。口頭で確認。 **チームはブイと岸との間を通り、岸またはボートにいるオフィシャルに声をかけて、自分のチーム・ナンバーを告げなければならない。** 声をかけずに通りすぎた場合は2時間のペナルティが加算される。チームは湖の右岸に沿って、岬から岬へ、**岸からおよそ200メートル以内の地点**を走行しなければならない。しかしすべての湾の内部の岸に沿って行く必要はない。ローワー・ラバージから3.5キロ (2 マイル) 位の地点にあるゴッダード・ポイント [61.3590N, 135.2366W] を過ぎたら、チームは真っ直ぐにローワー・ラバージに向かって進行しても良い。

**CP 2: ローワー・レイク・ラバージ** (61.3919°N, 135.2312°W) 口頭で確認。ユーコン・リバーに再び入る地点(湖出口)、湖の先端の右側に設置されており、**ここではベシクトラッキング用の SPOT のスイッチを一度オフにし、それからまたオンにする。**

**エンド・オブ・レイク・ラバージ締め切り時刻：** チームは、出発から14時間以内（つまり2017年6月29日（木）の早朝/夜中午前2時まで）にCP2に到着しなければ、レースを継続できない。上記締め切り時間までにCP2に到着しないチームは、レース・オフィシャルによりレースから除外される。除外されたチームは、レース・マーシャルの承認があれば（ルール25を参照）除外されたチームとしてレースを続けることが出来る。さもなければ、ノース・クロンダイク・ハイウェイから少しはずれたディープ・クリークにあるレイク・ラバージのキャンプ場に退出することになる。もしこの地点で退出するのだったら、チームとボートを道路に面した箇所まで連れて行くセーフティ・ボートが到着するまで、キャンプして待ってられる用意が必要である。

**MP3： ローワー30マイル**（61.5552°N, 134.9386°W）は湖の終わりから38.5キロ（約24マイル）の位置、左岸にある。口頭で確認。チームは、岸にいるオフィシャルに声をかけて、自分のチーム・ナンバーを告げなければならない。もし必要があったら、キャンプ場の焚き火を探して、止まって温まることができる。点滅灯とセーフティ・フラッグが目印である。

**MP4： ビッグサーモン**（61.8764°N, 134.9179°W）は、ユーコン川とビッグサーモン川が合流する地点の2キロメートル手前の右側にある。救助船（セーフティ・ボート）と河岸の焚き火が目印になっている。点滅灯とセーフティ・フラッグも目印となる。

**MP5： リトル・サーモン**（62.0528°N, 135.6806°W）は、口頭で確認。カーマックスから約60キロ（40マイル）、川の右側にあるリトル・サーモン村のボート発着場である。チームは、河岸にいるオフィシャルに十分声が届く地点まで近寄らなければならない。点滅灯とセーフティ・フラッグが目印になっている。

**CP3： カーマックス**（62.1119°N, 136.2669°W）は、橋と町の中心部の手前（上流）、2キロの位置にあるコール・マイン・キャンプ・グラウンドである。ここでは、7時間の休憩をとることが義務になっている。時刻を計る拠点は川上、キャンプ・グラウンドの始点である。チームはその後50メートルほど漕ぎ続け、ドックまでいくと、上陸し舟を岸に上げるのを、ボランティアと支援者たちが手伝ってくれる。ボヤジャー・カヌーは危険のないように、岸にしっかりと繋がれる。カーマックスでは、支援者から様々な援助をうけるか、または、キャンプ・グラウンドの係員を雇って援助をうけることが許される。チーム支援者は各自キャンピング料を支払わなければならない。キャンプ・グラウンドでキャンプをしない予定のチームは、登録の際にYRMPAにその旨報告し、CPマネジャーに確認しなければならない。自動のシャワー、洗濯機、並びに洗面所、食品、電話などが用意してある。**ベシックトラッキング用のスポット装置のスイッチは、上陸の際にオフにし、出発一時間前に再びオンにすること。**

**カーマックス締め切り時刻：**

チームは、出発時刻から35時間以内に（即ち2018年6月28日（木）23時/夜11時まで）カーマックスに到着しなければならない。この締め切り時刻までに到着しないチームは、レース・オフィシャルによりレースから除外される。（上陸して）署名をした後、チームはチェック・ポイントから再出発できる時刻を告知される。レース開始後42時間以内に（2018年6月29日（金）朝6時まで）カーマックス・チェック・ポイントから出発しないチームは、レースを放棄したものとみなされる。**レースから除外された場合、チェックポイントが閉まる前にCPの責任者にその旨を伝えないと、**



**チームには遅延料\$100が科される。**川や湖での悪天候のため、レースの一旦停止や遅延などを余儀なくされた場合は、レース・マーシャルの判断により、この制限時間が変更される場合がある。

**MP6: ファイブ・フィンガー・ラピッド** (62.2699°N, 136.3558°W) は、ラピッドを通り過ぎたところで、救助船(セーフティ・ボート)がモニターしている。転覆事故などがあった場合に、救助にあたるためである。

**MP7: ミントー・ランディング**。(62.5908°N, 136.8769°W) ドーソン・シティ終着点までの区間の、道路アクセスのある最後の地点である。川を横切るはしけ(平底船)の通行の邪魔をしないこと。

**CP4: フォート・セルカーク** (62.7763°N, 137.3923°W) は**口頭で確認**。チェック・ポイントは川の左、重要な史跡にあるキャンプサイト。チームは川岸の上に居るチェック・ポイントのオフィシャルに声が届くように、川岸近くを通らなければならない。チェック・ポイントは点滅ライトとセーフティ・フラッグで示されている。

**CP5: コーヒー・クリーク** (62.9146°N, 139.0839°W) では、川の左側で**3時間の休憩をとることが義務**とされている。チームは、(3時間の休憩後の)指定時刻から一時間以内に再出発しなければならない。レーサーのためにテントがしつらえてあるので、寝袋をしいて睡眠をとることができる。**時間が来たらレース・オフィシャルが起こしてくれる**。ゴールド・コープ・キャンプからのサンドイッチ、温かいスープ、クッキー、それにコーヒーと紅茶は、レースの申し込み料金に含まれている。人里はなれた場所にあるチェック・ポイントなので、食べ物の種類は限られている。もし特別な食べ物(ベジタリアン、グルテン無しの食べ物など)が必要な場合や、アレルギー性の競技者は、各自で適当な食べ物を持参してくること。このチェック・ポイントでは、チーム援助、道路のアクセスなど一切なし、用意されているものも限られている。CPは点滅灯とセーフティ・フラッグで示されている。**ベシック・トラッキングのSPOT装置は、ここでオフにし、出発する時に再度オンにすること。**

**MP8: シクスティ・マイル** (63.5628°N, 139.7566°W) **口頭で確認**。シクスティ・マイル・リバーが合流したすぐあと、**左側にある島**。ドーソン・シティまであと70キロ(47マイル)。チームは川岸またはボートに居るチェック・ポイントのオフィシャルに声が届くように、川岸近くを通らなければならない。モニター・ポイントは点滅ライトとセーフティ・フラッグで示されている。

**CP6: ドーソン・シティ終着点** (ルール 26 参照)

## 25. レースから棄権/退出する場合

チームがレースから棄権する場合、または避難ないし退出させられた場合、上陸後できるだけ早く、ホワイトホース、カーマックス、ドーソン・シティ、いずれかの主要なチェック・ポイントに赴き、正式な棄権届けの書類にサインして提出しなければならない。**カーマックス到着後、先を続けて行く予定がない場合、チェックポイントが閉まる前にその責任者にその旨を伝えないと、遅延料\$100が科される**。棄権を決定したチームが、さし当たってこれといった危険もなく、川を下り続けるだけの食料その他の装備をしている場合は、レース・マーシャルの承認を得て、棄権届けの書類に署名して、「**棄権チーム**」のステータスでパドリングを続けることができる。書類には、YRMPAの安全保証の責任を一切放棄することを承諾し、到着場所と到着時間とをレース・オフィシャルに告げなければならない。「**棄**

権チーム」が、指定した時間までに指定した場所に到着しない場合、YRMPA は RCMP (連邦警察)に通報しサーチ・アンド・レスキューを依頼するかもしれない。その場合はサーチ・アンド・レスキューの費用はチームが負担する。**チームの安全性が疑わしいか、救助船(セーフティ・ボート)の活動を妨げるとみなされた場合、または制限時間超過の場合は、そのチームは、YRQのレース・マーシャルによって棄権/失格と判断され、陸路のある次のチェック・ポイントまで輸送される。**

救助船(セーフティ・ボート)により川で救助/保護され、一番近い陸路のアクセス・ポイントまで運ばれたチームは、棄権/失格とみなされる。そのチームは、失格届け書類と、保証金没収を承認する書類とにサインしなければならない。メディバク(ボート、飛行機又はヘリコプターでのレスキュー)されたチームが、チームのボートをチェック・ポイントに運ばれた場合は、レースから棄権したとみなされ、保証金は返済されない。

チームは自分達の所有物を回収する手続の責任を持つ。レースが終了したのち残された装備は捨てられたものと考えられ、YRMPAの所有となる。

## 26. 終着点/ゴールでの手順 - ドーソン・シティー (CP 6)

クロンダイク・リバーを1キロ過ぎた地点、右側の川岸に三角コーンと旗で目印がしてあるドーソン・シティーのゴールを過ぎた時点で、チームはレースを完了したものとみなす。それぞれのチームが最終ライン/ゴールを超えるごとに、ホーンがならされ、完了時刻が記録される。終了チームは、川の右岸にある上陸用ドックに誘導され、最後の検査を受ける。チームの公式タイムは、義務付けられた休憩時間を計算に入れず、実際に(出発からゴールまで)かかった時間に、ペナルティ時間とレースマーシャルによって科せられた調整時間を加算した合計時間となる。**チームの公式タイムは、義務付けられたすべての装備のチェックと競技者のサイン・インが完了して、初めて記録される。レース係員の指示に従って、自分のボートを他のボートの邪魔にならない場所に移動すること。**

ドーソンにおける自分達の宿泊所と支援者の用意、イベント後のカメラ、装備、競技者自身の帰還手続きの用意は、すべてチーム自身の責任である。**すべてのチームは、ドーソン到着の際に手伝ってくれる支援者を用意すること。**ホームページの良くある質問 FAQ ページ参照。

レースは2018年6月30日(土)23時59分に公式に終了となる。この時点までチームの装備品の安全な保管場所が確保される。この時間以降は、レース・オフィシャルはチーム/競技者の進行具合をモニターする責任を持たない。この終了時間より遅く到着したチームのためには、ドーソン・シティーにサイン・インする指定場所が用意され、チームは公式に完走したものと認められる。

川や湖の悪天候によりレースの遅延を余儀なくされた場合は、レース・マーシャルの判断で、制限時間/終了時間が変更されることもある。

表彰式と授賞式は、2018年7月1日(日)にドーソン・シティーで催される。(場所と時間はウェブサイト、フェイスブックに追って掲載される。)

レース関係のパッケージの中に、各競技者のための表彰式のチケットが含まれている。(ドーンソンに**持参する**のを忘れないように。)追加のチケットはレース最終受付で買うことができるかもしれない。**余分なチケットはないので、忘れたり紛失したりしないように注意すること。**

Y R Q ホームページ、またフェイスブック・ページの、良くある質問 F A Q の欄や競技者情報セクションに行くと、規則のアップデート、競技者とサポートのための説明会のプレビュー、レース・スケジュール、スペシャル・イベント、トラベル・アップデート、その他、レースに関するインフォメーション、などを読むことができる。

< 終 >